

グロースアップ



優勝目指してたすきリレー

1月1日、県庁を発着点にニューイヤー駅伝2011inぐんまを開催。全国から集まった37チームが7区間100kmの上州路を駆け抜けました。ゴール間際の気迫のこもった競り合いに、観客の声援もヒートアップ。新しい年の幕開けを飾る熱戦となりました。



往年の名車と力比べ

1月3日、上毛電鉄の大胡電車庫で上毛電鉄新春イベントを開催。写真撮影会などの催しが行われ、家族連れなどにぎわいました。電車との綱引きでは、みんなで力を合わせて綱を引き、電車が動くと大きな歓声が上がりました。

魅惑のサウンドを堪能

12月23日、前橋プラザ元気21・3階ホールでウィンターコンサートを開催しました。マンドリン演奏や合唱などを7団体が披露。年末のひととき、多くの人々が美しい調べに酔いしれ、惜しみない拍手が会場に響いていました。



「出品してから時間がたつていたので、どうなったか気になってました。賞をもらえてとてもうれしい」
受賞作は「牛にゆうパックヘリコプター」。パーツのすべてが牛乳パックで作られていて、プロペラも回るアイデア満載の作品だ。毎朝欠かさず飲んでいる牛乳の空きパックを見て、工作に使えないかと思っただけが制作のきっかけ。夏休みを利用して1カ月で完成させた。「ヘリコプターの丸み

を出そうと工夫しました。お父さんからアドバイスをもらいながら作ったプロペラがうまく回った時は『やった!』と思いました」
今までも木の筆箱を作るなど、小さなころから工作が好きだという金子さん。休みの日は祖父の家に遊びに行き、ダンボールや新聞で物作りをして遊ぶことが多い。また、水泳や野球など、体を動かすことも大好きだという。
「毎週スイミングスクールに通っています。得意な種目は平泳ぎ。国体の水泳で2位になった、お父さんを超えたいな」
将来は水泳でオリンピックに出たいと力強く語る。物作りで培った集中力を生かし、大きな目標に向かって突き進んでほしい。

物作りをしていると時間を忘れる

いきいき まえばし人



全国牛乳容器環境協議会賞を受賞
金子 修汰さん・10歳
日吉町四丁目

わたしたちの学校 ニュース

伝統の七中魂

わたしたちの七中には、先輩たちから受け継がれている、七中魂があります。七中魂とは、具体的には「最初から全力」「決して手を抜かない」「最後まであきらめない」という3つの取り組みのことをいいます。生徒会ではこの七中魂を大切に、学校生活において一人一人が実践できるよう呼び掛けています。



元気にあいさつ

そのほかにも現在生徒会で取り組んでいる活動があります。それは、朝の挨拶運動とエコキャップ回収です。朝の挨拶運動は、七中の生徒が朝から気持ちよく学校

生活を送れること、1日元気よく活動できることを願って取り組んでいます。エコキャップ回収は、JRC委員会と協力して取り組み、最近では校外の施設からもエコキャップを届けてもらえるようになりました。ことし4月には、校舎が現在の場所に移転して3年たちます。玄関から入ると広いコミュニケーションルームがあり、作品展示や学年集会、各部活動の集会の場になっています。そして大切に使用して、七中魂と一緒に後輩に引き継いでいきたいと思えます。また、七中はことし、創立50周年を迎えます。これからも生徒全員で協力しながら、今以上に素晴らしい学校にしていきたいと思えます。



協力してキャップを回収

生徒会長 加藤 直樹さん